寺岡 大輔

主審

罢夕

準決勝

[ 53 ]

## 公式記録

令和6年度兵庫県高等学校サッカー新人大会

## 2025 年 2 8 11 : 00 キックオフ 会 場 アスパ五色メイングラウンド 日 $\Box$ (+) 天然芝 人工芝 ・ クレ・ 天 候 晴わ. 強風 状 態 良好 試合形式 70 分 延長 0 分 PK戦 有 運営責任者 弘樹 田村 芝切 観衆 笠原 会場主任 孝次 記 録 平野 敦士 527 主 審 寺岡 大輔 副審1 川崎 秋仁 副審2 羽渕 友登 第4の審判員 草山 誠 チーム名 前半 チーム名 0 kick off 滝川第二高校 1 後半 2 報徳学園高校 2 2 延前 (O) (3)選手番号 3.F.径 選手番号 9 O PK戦 0 0 0 OX 先 OX 韱 シュート シュート 交代 手 (学年) 手 名 (学年 選 名 位置 位置 選 前半 OUT時間 延後 延前 後半 前半 後半 延前 延後 OUT時間 No 岩橋 晃大 2 年 12 GK GK 小原 悠杜 1 4 分 1 分 DF 吉井 DF 山下 颯大 悠 2年 5 3 1 年 分 分 2\* 湆澤 呂澪 2 年 4 DF DF 林 誠那 2 年 分 分 分 巧成 2 年 3 DF DF 45 吉田 朔直 2 年 分 DE DF 悠生 堀田 誠之助 2 年 1 分 ПЩ 2 年 16 分 1 壮一郎 2 年 MF MF 中里 瞭希 2年 分 分 22 田坂 彩人 MF MF 高柴 龍之介 50 分 2 年 8 48 2 年 分 67 分 坂田 淳哉 2 年 13 ME ME 15 谷木 綾直 2 # 分 2 年 MF MF 40 2 年 分 中込 凯斗 18 大谷 徠 分 米田 空眞 2 年 MF MF 近田 亮真 67 分 14 1 4 分 1 \* 善 FW 悠习 1\* 空久保 2年 9 FW 50 太田 2年 1 \* 分 大久保 苔直 年 GK GK 河島 直透 4 分 分 12 DF DF 西 倫平 國安 昇宣 2 年 2年 20 16 分 分 水谷 颯翔 2 年 ME DF 49 堀江 丞 2 年 分 分 6 分 塩崎 優之介 2年 15 MF DF 54 滝 星夏 2 年 分 宮本 蒼大 1 年 17 ME DE 濱田 董介 2 年 分 92 分 青木 陸輝 1 年 MF MF 43 本池 煌士郎 2 年 分 分 井上 大誠 1 年 MF MF 森川 悟志 26 68 2 # 分 分 分 北村 勇貴 1 年 10 FW MF 94 直下 大輝 2 年 分 波多野 1 年 FW FW 今西 諒輔 分 蒼大 2 年 分 合計 後半 前半 チーム合計 前半 後半 合計 時間 事由 問部 警•很 Æ 名 事中 証前 延 警•退 Æ 名 延後 延前 シュート 分 8 6 2 3 4 分 9 3 8 分 7 分 4 3 1 CK 2 5 分 分 4 3 1 直接FK 5 7 12 分 О 間接FK 3 分 分 РΚ Ω 0 分 0 0 0 0 分 [警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2 略号例:ドリブル~・ ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS 問部 得点者 [得点経過] 15 分 **潼川第二** 9 空久保 1 - 0右 16 $\cap$ 9 $\sim$ S 46 72 中央 分 報徳 近田 左 50 7 S 47 報徳 太田 50 S 50 右 分 2 得 潼川第二 滝澤 中央 4 70+3 分 4 左 CK 18 $\cap$ HS 点 分 分 経 分 泥 分 分 分 分 戦評者 甲陽/小野 氏名 【 所属【 江川/川口 強風の中、共に1-4-2-3-1のシステム、報徳キックオフで試合開始。立ち上がりはロングボールを中心に両チーム主導権の奪い合う展開が続く。滝川第二は左サイド中心に突破を試みるも報徳の粘り強い守備でゴールに近づけない。15分、滝川第二は攻守が切り替わった瞬間、16山田がすかさず報徳の背後に蹴り込むと同時に9空久保が反応し、冷静に流しこみ先制に成功する。その後、滝川第二が主導権を握るも、報徳は50太田を中心に背後を取りゴールを狙う。報徳はコーナーキック、ロングスローを活かしゴールに辿るも、滝川第二がコール前で体を張りゴールを割らせない展開で前半終了。後半開始直後、報徳は22中間を、別前によれず、地域などに持ちませる。 はコーケーキッグ、ロッグスローと高がロールに迫るも、利用第二はコール間(Pressのコールを含むてはい展開で同手減)。後十萬知自後、特局は22年 里を一列前に上げゴール前で主導権を握ることに成功する。46分、報徳が22中里の左サイドからのクロスを50太田がゴール前でDFを背負いながらポストプレーでワンタッチ、走りこんできた7近田が角度のないところから右サイドネットに決め同点に追いつく。直後47分、報徳が攻勢を強め右サイドの7近田から 裏へうまく抜け出した50太田が落ち着いてゴールを決め逆転に成功する。滝川第二も選手交代を使い、主導権を取り返しにかかり、それに合わせて2トップに変え攻撃に厚みを加える。その結果、滝川第二が攻勢を強め、試合終了間際に得たコーナーキックに4滝澤が合わせ同点ゴールを奪いPK戦に突入する。報徳

1小原のセーブもあり、報徳がPK戦を制し、決勝へ駒を進めた。70分の試合を通して、お互い一進一退の攻防を繰り広げ、見ごたえのある好ゲームであっ